



葉山町

議会だより

146号 令和3年11月15日発行



令和2年度決算	…	2
第3回定例会報告	…	8
委員会レポート	…	11
一般質問は12人が登壇	…	14

葉山町議会

検索



写真：「一心泣き相撲◎葉山場所」

※表紙説明は裏面にあります。

令和2年度決算を認定

新型コロナウイルス感染症拡大の中での事業執行

新型コロナウイルス感染症拡大の中での事業執行

評価
した事業



合併処理浄化槽補助
38基の転換



プレミアム付商品券
家計への影響を緩和するため



湘南国際村グリーンパーク
維持管理のための財源確保を



課題
とした事業

ふるさと納税
歳入歳出を考えた取り組みを



パートナーシップ制度のスタート
みんなのパートナーシップ制度より参照
5組が宣誓



健康維持の向上
貯筋運動の様子



町営住宅の給湯機器
事故防止の観点からも更新を



体育施設の新設
具体的な検討を



地方創生臨時交付金
「新しい生活様式」への対応



京急ふれあいパス購入費補助
運転免許証自主返納者へ増額 6000円
(初回のみ)



公共下水道
接続率向上と誤接合の解消を



南郷上ノ山公園
改元奉祝事業で建設した東屋と植樹した樹木の管理を

決／算／審／議／総／括

5人が質問しました

葉山町第四次総合計画前期基本計画の最終年の令和2年度。各基本施策が掲げる「めざす姿（目標）」が達成されたのか、5人が質問しました。



金崎ひさ



窪田美樹



近藤昇一



荒井直彦



中村和雄

基本理念1

人を育てる葉山

基本1 学校教育の充実

窪田 給食センター整備は延期されたが、覚書に変更は。 **参事** 覚書の修正を事業者と協議している最中だ。 **窪田** 劣化診断からの小中学校緊急修繕に不用品が多いが。 **教育部長** 財政面に配慮しつつ、予定の工事は全て行った。

基本3 図書館サービスの充実

金崎 図書館の改善策とは。

教育部長 貸出冊数を10冊、休日の翌日は開館とした。



本を選ぶ親子

基本8 子ども・子育て支援の充実

金崎 病後児保育の状況は。 **福祉部長** 4件の利用だった。

窪田 コロナ禍で妊産婦が相談者を見つけない状況では。 **福祉部長** 子育て世代へのケアを行なっていきたい。



病後児保育室

基本理念2

暮らしを守る葉山

基本11 地域福祉の充実

近藤 後期高齢者医療制度は窓口2割負担化の法律が強行決定された。町の対応は。 **福祉部長** 葉山では約2千人弱が対象になる。県内自治体と連携をとり対応を図りたい。

基本14 緑の保全

窪田 土砂災害を防ぐにも山林の管理は重要だ。みどり基金等を活用した仕組み作りは。 **都市経済部長** 検討課題だ。

荒井 森林環境譲与税は、令和元年度からみどり基金に入っているが、累計の金額は。 **政策財政部長** 令和2年度末で合計43万8千円だ。

荒井 森林環境譲与税をどのように使用するのか、体制や仕組みをどう考えているのか。 **町長** 約7割が木々に覆われている町で、どのような使い方にしていくか、山で活動している方々の声を直接聞きたいと考えているが、もう少し慎重に議論を重ねていきたい。



葉山小学校裏の法面

基本16 地球温暖化対策の推進

窪田 気候非常事態宣言を行ったが、横須賀石炭火力発電所建設へ何らかの行動は。 **町長** 自然エネルギーの方向性を示すことで想いを伝える。



建設中の横須賀石炭火力発電所

基本18 合併処理浄化槽の整備

荒井 合併浄化槽転換は、何基達成できたのか。 **環境部長** 38基の転換をした。

荒井 令和7年度までに690基との目標に対しては、現状からみてどうか。 **町長** 目標達成に向けて気を入れていく。

環境部長 達成率では17・4%であるが、国の交付金の関係もあるため、この目標に向かって進めていく。

**基本
施策 20**
災害に強い
まちづくりの推進

金崎 危険ブロック塀の撤去補助事業と、新規のブロック塀設置を認めることの矛盾は。
町長 危険なものの撤去であって、ブロック塀そのものが駄目というわけではない。
窪田 学校体育館設置の太陽光パネルに、蓄電池の設置は。
町長 検討の俎上^{そじょう}にのせる。



南郷中学校の太陽光パネル

**基本
施策 22**
各種相談体制の確立

中村 令和2年度に葉山の生活困窮に係る相談が、県社会福祉協議会に171件あったが。

町長 町の窓口にアクセスしやすくなるよう、標示やメッセージについて工夫検討したい。

基本理念3

活力を創造する葉山

**基本
施策 26**
計画的な
幹線道路の整備

金崎 三浦半島中央道の整備推進については。
町長 令和3年度中に調査、令和4年度に設計の予定だ。

**基本
施策 30**
農業・水産業・商業の
振興と連携の促進

中村 超党派による議員立法で労働者協同組合法ができた。葉山の農業の展開にあたって、協同組合方式はひとつのツールになるかと思うが。

都市経済部長 活用したい人や団体があれば、相談に乗るなどしていきたい。

中村 葉山は農地の規模やアクセスの面で厳しい状況にあ

るが、食料の世界的逼迫の懸念もある。農地や森林の活用が求められていると思うが。
町長 町民とも、いろいろ話し合ってきた。未来志向のモデルを提案していきたい。



朝市の様子



上山口のキャベツ畑

**基本
施策 31**
観光の振興

金崎 臨御橋への寄付額は。政策財政部長 令和3年8月現在で約1億1122万円だ。

基本理念4
みんなでつくる葉山

**基本
施策 33**
協働による
まちづくりの推進

金崎 パートナーシップ制度の利用状況は。
福祉部長 現在5組の宣誓だ。
中村 空家対策がなかなか具体化しないが。
政策財政部長 空家バンクの創設を進めていく。

**基本
施策 36**
行政組織の充実

金崎 職員の働き方改革とは。
総務部長 時間外の限度を45時間とし、改善を図った。
金崎 クリーンセンター職員の日収集も対象か。
環境部長 対象ではない。



クリーンセンター職員作業風景

**基本
施策 38**
健全な財政運営の維持

窪田 財政へコロナの影響は。
町長 令和4年度に税収へ大きな影響が出ると考える。

近藤 6つの基金（積立金）は総額25億8千万円で、年度間の財政調整のための基金は2億4千万円増えて10億300万円になっている。町長は「財政調整基金は5億円程度が望ましい」と言っていた。町の財政運営は、町民から預かった税金を貯めこむだけでなく有効に活用することだ。基金は幾らが適正と考えるか。
町長 「目指そう値」を大きく上回っている。今後の施設整備に必要だ。

近藤 多くの自治体で施設整備の時期にきている。施設整備に必要な目標額を設定して、公共施設整備基金に積みすべきではないか。
町長 コロナ禍で事業が止まり、積み増している。



町長・教育長質問

生活再建に対応した徴収の取り組みは

町長 税務課のみならず、福祉課等の横連携で寄り添う。

問 相談窓口を設置しては。

町長 今後の課題としたい。

ふるさと納税における歳入歳出を考えた取り組みは

町長 体験型商品を用意し、町を訪れてもらう取り組みを進めているが、厳しい制度だ。

問 この制度は5千万円の赤字だ。実態を町民に分かり易く知らせるべきだ。

町長 検討したい。

湘南国際村グリーンパークの維持管理をすすめるための財源確保は

町長 関係機関の協力を仰ぐ方法を考えたい。

問 都市計画税の徴収は。

町長 試算すると2100万

円だ。県との協力のもと、まずは活性化を図ることで対策を見いだしていきたい。

公園のあり方は

町長 62カ所の公園の総合的見直しをするが、緊急事態宣言下で延期になった。

教育長 南郷上ノ山公園の東

屋と樹木は都市計画課等と連携し、教育委員会が管理する。

問 庁内での検討は。

町長 ※インクルーシブ公園等の視察後、地域の方との対話を経て、見直し案を示す予定だったが、延期になった。

※みんな一緒に遊べる公園

問 南郷上ノ山公園の管理は、

町長 都市計画課が適当と思うが、体育協会の各団体が活動しているの、教育委員会の管理を継続したい。

問 南郷上ノ山公園の駐車場の有料化は。

町長 令和3年12月議会で概略を説明する。

問 南郷上ノ山公園の目的外使用で1500万円の収入があった。施設の充実に使うべきと思うが。

町長 そのように考えている。

産後ケア事業の充実は

町長 しっかりと取り組む。

問 自己負担が宿泊型1泊1万8千円、デイサービス6千円だ。高額なので利用を躊躇するのは。

町長 今後の検討課題だ。

問 少子化対策として姿勢は。

町長 母子手帳発行数は150冊を切る状況で、喫緊の課題だ。

専属の図書館長の配置は

教育長 町立図書館あり方検討委員会から「館長は有資格者の配置を検討すべき」との報告があった。

町長 内部からの登用は制限があるが、今後検討を進める。

問 生涯学習課長が館長を兼任するのは、図書館の自主性が損なわれると思うが。

教育長 館の独立性は、教育委員会内部の検討案件である。

町長 現状で支障はない。

町営のプールと体育館の新設は

教育長 公共施設の老朽化に合わせて、検討すべきと思う。

町長 プール、体育館の新設は夢として持っている。

問 夢は実現するためのもの。方向性を示すべきと思うが。

町長 今は時期尚早だと思う。

問 老朽化した学校プールは廃止し、すべて民間の施設でプール教育を行う方向性か。

教育長 令和3年度は小学校2校が民間施設を活用した。他の2校は様子を見る。



老朽化が進む小学校プール

再生エネルギーシステム等普及促進は

町長 今後も、普及啓発を促しながら推奨したい。

問 町民に対し補助するのみで、町自ら取り入れるなど積極的な姿勢がないが。

町長 契約電力等を再生エネルギーのものに変える。その他、今後の課題にしたい。

問 町民に勧めている施策を実行する気はあるのか。

町長 蓄電システムとして電気自動車の購入を促進したい。

問 被災時は電気自動車が現場に着けるかどうか問題だが。

町長 今後整備するクリーンセンターと給食センターは導入に向けて検討したい。

問 役場庁舎にソーラーパネルを設置する考えは。

町長 庁舎使用電力に見合ったものは難しい。町民へのアピールという観点で考える。

決算特別委員会の動画



決算特別委員会審査報告

伊東圭介委員長のもと、伊藤航平副委員長、飯山直樹、山田由美、鈴木道子、笠原俊一、近藤昇一の各委員が審査を行いました。

一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、下水道事業会計については全会一致で認定、後期高齢者医療特別会計は賛成多数で認定しました。

また、審査の中で議論され、特に抽出された指摘及び要望は、次のとおりです。

1 改元奉祝事業で南郷上ノ山公園に建設した東屋と植樹した樹木の管理について、関係する部署と連携を図るべきである。

《要 望》

1 旧役場跡地利用の際には、車いす利用者も健常者同様に使用ができるように配慮されたい。

2 町営住宅における給湯機器は、旧式のものを使用しているが、事故防止の観点からも更新されたい。

3 町営施設における駐車場の有料化については、事前に議会と協議をされたい。

4 多くの町民が利用できる体育施設の新設について、具体的な検討を開始されたい。

なお、この指摘及び要望について、4年度の予算編成の実施に向けた議会からの政策提言として、町長に対し文書をもって申し入れ、文書回答を求めています。



旧役場前バス停イメージ図

本会議における令和2年度の決算審議

近藤昇一、土佐洋子、両議員が討論を行いました。

主な討論内容

賛 成

一般会計

- プレミアム付商品券は一定の効果があった。
- 民間保育所開設により、待機児童が減少した。
- パートナシップ制度は三浦半島での相互連携が可能になり、町内では5組が宣誓した。
- 合併処理浄化槽補助事業に対し、町と議会で県に要望書を提出し、補助金の確保ができ、件数が伸びた。
- 海難救助等、特別交付税の獲得に努力した。
- 南郷上ノ山公園の駐車場有料化に向けて12月議会に提案すること。
- 徴収業務において多重債務の町民に対し、解決に向けた案内をし、生活再建に対応した取り組みが行われた。
- コロナ対策に係る町民の生活を守るための事業が多く行われた。また、手探りと言えるコロナ対応に尽力した。
- 住宅リフォーム資金助成事業を増額し対応した。
- 南郷中学校の通学路の変更と改善を評価する。
- ヤシの実教室が安全な環境のもとと学べるようになった。

介護保険特別会計

- 全国で11位という評価を受け、保険者努力支援交付金が支給された。

下水道事業会計

- 減免要件の喪失している対象者をチェックできた。

後期高齢者医療特別会計

反 対

- 国の施策とは言え、国民を年齢で区切り高齢者を別枠の医療保険に強制的に囲い込み、負担増と差別医療を押しつける医療制度を認めることはできない。

認 定

- ◎ 一般会計…………… 全会一致
- ◎ 国民健康保険特別会計… 全会一致
- ◎ 後期高齢者医療特別会計 賛成多数
- ◎ 介護保険特別会計…………… 全会一致
- ◎ 下水道事業会計…………… 全会一致

第3回 例会 第3回 定例

令和3年9月9日から10月13日まで
開催し、議案や陳情等を審査しました。

令和3年度一般会計補正 予算(第3号)

歳入

地方交付税 (6133万円)

社会保障関係費や臨時財政
対策償還額等に係る基準財
政需要額が基準財政収入額を
上回ったことに伴う増額

衛生費国庫負担金

新型コロナウイルスワクチ
ン接種対策費国庫負担金
(7011万円)

予防接種に係る経費に対し
て交付される

主な質疑

問 国庫負担が10分の10なの
に、なぜ接種の報酬や諸手当
等が町の負担となっているの
か。

答 今後、精算して国に報告
するので、町負担はなくてす



接種会場になった福祉文化会館

む予定だ。

問 町はこれまで7千万円あ
まりも負担してきた。令和2
年度のように、あらかじめ補
助されるべきではないか。

答 国が決めた一律の基準だ
が、機会があれば、交付の在
り方の見直しを要望したい。

衛生費寄附金

新型コロナウイルス感染症
対策への寄附 (50万円)

主な質疑

問 寄附金は、コロナ対策の
基金に積むべきではないか。

答 コロナは長くは続かない
という希望を込めて、即時対
応することを念頭に置いてい
るので、今は基金は設置して
いない。

いろいろな方に利益を感じ
ていただけるよう、幅広く、
各方面に使うような形で運用
する。

繰越金 (4億1329万円)

令和2年度剰余金6億13
29万円の確定に伴い、予算
現額2億円に補正額4億13
29万円を加える

歳出

基金積立金

(4億4100万円)

財政調整基金積立金に61
00万円、公益施設整備基金
積立金に3億8千万円を積み
立てる

主な質疑

問 基金への積み立てが多く
なっているが。

答 コロナ禍で事業が中止に
なった分もある。将来に備え
た先送りだ。

新型コロナウイルスワクチン 予防接種事業(9360万円)

主な質疑

問 なぜ町が2349万円も
負担するのか。

答 事業はまだ継続中で、今
後また国からの交付が受けら
れる。接種事業が完了してか
らの精算になる。

問 妊婦や障害者への優先的
な対応は。

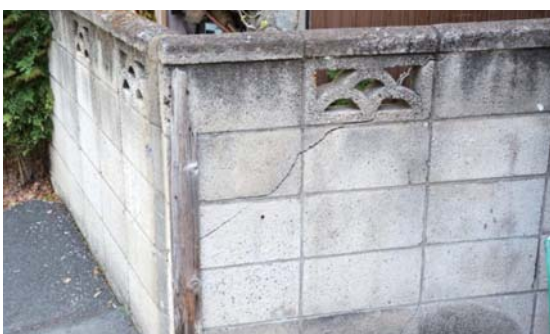
答 特に妊婦を優先しての公
募はしていないが、問い合わせ
があればキャンセル枠を柔
軟に活用するようになってきた。
障害のある方に対しては、車
椅子等を用意し会場で介助の
体制をとっている。高齢者向
け施設や、はばたき作業所で
も接種を行った。



ワクチン接種の様子

住宅耐震推進事業 (30万円)

危険なブロック塀撤去の補
助金の申請が増加したこと
による増額



危険なブロック塀

主な質疑

問 補助金申請の状況は。

答 申請は4件、相談中は5件ある。合わせて10件の申請を想定している。

問 相談が増えた要因は。

答 コロナで在宅時間が増え、身の回りのことが気になる状況になったこと。チラシや土木関連事業者からの案内、近所からの情報などで、周知が進んだこともある。

問 補助の上限は10万円だが、当初予算30万円に加え30万円の補正で足りるのか。

答 一件あたりの平均が6万6千円なので、当面は足りると考える。不足したら、また補正予算を組む。

問 大阪北部地震で通学中の子どもが亡くなった事件を受けて、町内でも通学路の安全のためにブロック塀の調査をしたが、その危険性はなくなったのか。

答 防災安全課を中心として教育委員会、都市計画課で調査したところ、危険な塀は146カ所あった。そのうち22カ所は改修した。

問 まだ120カ所は残っている。もっと強気に推し進めてはどうか。

答 チラシやホームページ、回覧、訪問などの方法で周知に回っているが、資金不足や建て替え予定など、各家庭でいろいろな事情がある。

消防活動事業 (64万円)

令和4年4月1日付の新規採用職員(追加分)に係る被服及び装備品等の購入

主な質疑

問 新規の消防職員は何人になるのか。

答 令和4年4月までに4人採用の予定だ。退職者が出た分、7月に1人採用しすでに勤務している。



消防職員の被服

葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に係る傷病手当金の支給対象となる期間を、令和3年9月30日から12月31日まで延長する

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について(議会議案)

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求めるため、国に対し意見書を提出する

令和3年度一般会計補正予算(第4号)

歳入

国庫支出金

地方創生臨時交付金

(1930万円)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の取り組みや、

地域経済・住民生活の支援、事業継続・雇用維持や「新しい生活様式」への対応に係る経費に対して交付

歳出

ICT推進事業 (892万円)

新型コロナウイルス感染症対策として、テレワーク用のノートパソコン20台購入等

主な質疑

問 町職員のリモートワーク対象者は20人だけなのか。

答 * L G W A N 回線を使う業務に限る。職場のパソコンを遠隔で使用するためのもので、必要とするのは該当する職員の1割以下だと推定した。
* 総合行政ネットワーク

問 20台は、持ち回りで使用するのか。

答 総務課の電算室で一括管理し、予約で貸し出す方式だ。

問 自宅にウィンドウズパソコンがある職員には貸さないというが、必要とする全員に公務用パソコンを用意すべきではないか。

答 4年度、庁舎のパソコン

の契約更新を迎えるので、在宅用にも使えるようにする。

問 在宅で使用するパソコンのセキュリティが心配だが、スクリーンショットでデータ保存できるのか。

答 それはできない。

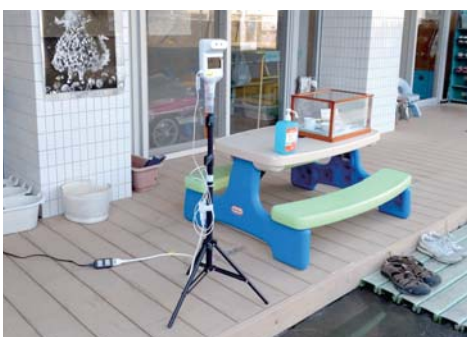
保育園運営事業 (19万円)

葉山保育園に新型コロナウイルス感染症対策のためサーマルカメラを購入

主な質疑

問 サーマルカメラの設置場所は。

答 保護者が出迎えて園庭に出入りする場所に設置する。



サーマルカメラ設置場所

都市公園管理費

- 葉山しおさい公園管理事業 (35万円)
- 南郷上ノ山公園管理事業 (136万円)



南郷上ノ山公園

新型コロナウイルス感染症対策として、洗面所及び小便器の自動水栓化工事等を行う

小学校情報教育推進事業 (570万円)

小学校4校にオンライン授業強化のための学習用タブレット端末92台を整備

主な質疑

問 全て教師用か。

答 その通りだ。常勤の教員にはすでに渡っているが、非常勤教員にも必要で、2台同時使用等への備えも必要となる。

中学校教育振興事業 (136万円)

中学校2校に新型コロナウイルス感染症対策の消耗品(飛沫防止用パーテーション)やサーマルカメラを購入

主な質疑

問 サーマルカメラは生徒用出入口のみか。

答 教員用出入口は必要ないと考える。

小学校教育振興事業 (117万円)

小学校4校に新型コロナウイルス感染症対策の消耗品(飛沫防止用パーテーション)を購入

主な質疑

問 どこに設置するのか。

答 教室の教卓や特別教室などだ。職員室にはすでに設置してある。



特集

中学校給食サウンディング調査結果

葉山町では、中学校完全給食の実施と小学校給食施設の老朽化対策という2つの問題の解決を図るため、**学校給食センターの整備**を予定していましたが、さまざまな状況から**事業を停止**しています。

一方で、**葉山町議会の「決議」**を重く受け止め、**(1) 中学校完全給食の早期実現 (2) 財政負担の軽減 (3) 温かい給食の提供**の条件を満たす民間事業者からの提案を広く求めました。

	親子方式 (親校は上小を想定)	デリバリー方式 (喫食率 75%想定)
概算コスト	検討中	3億9,800万円/5年 (喫食 75%想定)
温かい給食	保温食缶	大型電子レンジによる再加熱
その他	● 全員喫食を実現できる	● 全員喫食は難しい(選択制)
	● 現行の衛生管理基準(汚染・非汚染区域の区分、ドライ式)は満たさない	● 現行の衛生管理基準(2時間喫食)を満たせない恐れがある
	● 小学校3校(上山口小以外)の給食室の改修の有無・内容・費用について要検討	● 小学校4校の給食室の改修の有無・内容・費用について要検討
	● 親校は民営	—

今後、親子方式のコストをはじめ、暫定案の詳細を検討していくとの報告を受けました。

クリーンセンター再整備 進捗状況の報告

- 12月22日、受託候補者を決定、2月～3月に工事請負契約締結(議決)
- 生ごみ分別収集実験
令和6年度に逗子市と共同で「生ごみ資源化処理施設」を建設し、生ごみの堆肥化処理を行ない、製造された堆肥は町民に配布することにより循環型社会の形成を目指し、実証実験を始めた
・「生ごみ」の分別と「収集頻度(燃やすごみと生ごみを週1回収集)」の変更
・上山口町内会で10月1日より、12月28日まで実施



「生ごみ」週1回

● キーローやコンポスターなどをお使いの方は、引き続き自家処理での減量化にご協力をお願いします。



「燃やすごみ」(生ごみを除く)週1回

- 生ごみ堆肥利用実験の経過
協力農家からのヒアリングと、次回は2種類の堆肥を利用する
- 粗大ごみ収集・搬入と資源物等の保管業務実績状況
・通学路のため車両搬入時間を登校時間とずらしている
・収集 643件 持ち込み 225件
・予約受付から3営業日以内に対応できている
・持ち込みは予約制のため混雑はみられていない

皆さまから寄せられた**請願・陳情**の審査

委員会レポート

さまざまな、町の**問題・課題**の改善、対策を議論します。



総務建設

葉山町暴力団排除条例及び関連法規の遵守の重要性の確認を求める陳情

「大濱宅地開発」における開発事業者との懇談の場において、事業者側から暴力団と関係していると受け取れるような発言があり、その際、同席した町職員から発言を抑止するような行動がなかった。

葉山町で宅地造成や建造物建築事業に関連して、関連法規遵守の重要性と確認を求めているものです。

陳情者意見陳述

「本陳情は、開発の中止や反対を求めるものではなく、開発業者の威圧的言動を問題視するものであり、町全体の

問題として捉えるべきである。葉山町で今後行われるまちづくりにおいて、開発業者の威圧的言動は許されるものでない」との説明を受けました。

審査結果

「本陳情の趣旨は、開発業者の威圧的言動をきっかけに開発を中止させる意図があるのではないか」等の意見もありましたが「今後の葉山のまちづくりを行っていく上で、住民、町、事業者が対等であればならないというのが趣旨と理解する」との意見でまとまり、全会一致で趣旨了承としました。

中華人民共和国政府の人権弾圧に対する速やかな対応を求める意見書に関する陳情書

中華人民共和国政府による

人権侵害行為で、特にウイグルでは非人道的弾圧が続けられているとされている。そこで、国に対し「中国政府が新疆ウイグル自治区で行っている行為を『ジェノサイド』と認定すること」「中国においても基本的人権、自由や民主主義という普遍的価値が確実に保障されるよう強く働きかけること」について意見書の提出を求めているものです。

陳情者意見陳述

「中国政府の人権弾圧を受けている人々の解放を求めるため、国に対し意見書の提出をしていただきたい」との説明を受けました。

審査結果

「陳情人説明から、人権侵害が行われていることは十分理解できるが、実態を把握していない曖昧な内容が盛り込まれている」「人権の問題はとても大切であるが、日本と中国との関係は、総合的に考慮する必要がある」との意見でまとめ、全会一致で趣旨了承としました。

委員長 石岡実成

教育民生

令和4年度における「重度障害者医療費助成制度」の継続についての陳情

県の重度障害者医療費助成制度変更後も透析患者は市町村の制度により、負担なく治療を継続している。しかし制限導入の市町村もあり、制度がなくなると、日常生活の負担は増すばかりとなる。については、令和4年度予算策定にあたり、制度の継続を求めているものです。

陳情審査

担当課から「県、近隣自治体、本町においても制度変更の予定はなく、現時点で縮小の考えはない」との説明がありました。

審査結果

「負担なく医療を受けられるよう令和4年度予算の現状維持を後押しすべき」との意見でまとめ、採決の結果、全会一致で採択しました。



車いす利用送迎車

令和4年度における透析治療への通院困難者に対する「通院支援」の継続についての陳情

透析者は治療のため通院をしているが、高齢化や合併症による移動困難者が増えていく。については、令和4年度予算策定にあたり、通院支援の継続を求めているものです。

審査結果

「透析者は定期的な通院が必要で、通院支援となる助成の継続は必要である」「通院助成制度について更なる検討が必要である」との意見でまとめ、採決の結果、全会一致により採択しました。

葉山町スポーツ推進計画に関する陳情書

若年層のスポーツ向上、地域発展のため、老若男女問わず行えるスケートボード（BMX・インラインスケート）パークを葉山町内に整備してほしい、前向きな整備の検討を求めているものです。

審査結果

「オリンピックピックの影響で、スケートボード人口が増加している」「さまざまあるスポーツ種目の一つであり、体育館やプールといったスポーツ施設の建設や公園整備の一つとして考えるべき」の意見でま

所管事務調査

● 中学校自転車通学について
7月の葉山中学校PTA運営委員会の議題では、要望がなかった。

● ヤングケアラーについて
要保護児童対策地域協議会との連携を図っていく。
● 葉山町公共下水道建設改良事業について

下山口地区の土壌分析調査で有害物質（ヒ素とセレン）が検出され、県の条例に則り、

適切に処理を行う。
以上の報告を受けました。

視察報告

7月12日

(株)タケエイグリーンリサイクル（横須賀市浦郷町）

これまで山梨県富士吉田市に搬出していた植木剪定枝等の一部を、令和3年度より横須賀市内へも搬出するようになり、現地視察を行ないました。

委員長 荒井直彦



植木剪定枝による発電施設の視察

議会広報

議会改革

令和4年度予算に関係する項目について協議しました。編集作業迅速化のため、予算編成を第2回定例会から第1回までとし、予算要望を行うこととしました。

わかりやすい議会に結びつけるため議会白書の作成は、子どもにも分かりやすいものをとの意見があり、議会白書の検討は終了としました。

● 広聴機能充実のため、議会だよりの編集業務の外部委託等を検討する。

● 議場外傍聴者へ一般質問資料が閲覧できるようにする。

● 聞こえにくいとの声が多い本会議場の音響機器類を改良

・改善する。
の3項目は、継続して検討します。

町民との会議

葉山芸術祭実行委員会とリモートによる意見交換会を11月15日に開催することとしました。

委員長 飯山直樹

議会運営

議会改革

● 第2回及び第4回定例会の一般質問日程を、第1回及び第3回に合わせ定例会最後に行うことにしました。これにより各定例会一般質問日程間のばらつきがなくなります。

令和4年度から実施します。
● タブレットで「マイクログソフトオフィス」を使用できるようにするため、議長を通じて負担割合の調整を行い予算要望することとしました。

議員研修会

令和3年度は「人権」に関する研修を3回受けることとしました。

● 第1回 10月22日
「被差別部落の歴史と現状」

● 第2回 11月18日

「部落差別問題の現状と課題」

● 第3回 1月26日

「日常にある偏見を知り考える〜ハンセン病問題を通して〜」

委員長 金崎ひさ

議会BCP策定チーム

近年の台風の巨大化や想定される大地震など大規模災害が発生した際に、いち早く通常時の議会業務活動ができるように、葉山町議会業務継続計画（議会BCP）を策定するチームを設置しました。

土佐洋子リーダーのもと、石岡実成サブリーダー、中村和雄、伊藤航平、荒井直彦、窪田美樹の各委員で令和4年4月からの運用を目指します。

リーダー 土佐洋子



集中豪雨で増水した下山川合流地点

第3回定例会 賛否結果

議案	議員氏名(議席順)	飯山直樹	中村和雄	伊藤航平	山田由美	石岡美成	金崎ひさ	鈴木道子	荒井直彦	笠原俊一	土佐洋子	窪田美樹	近藤昇一	伊東圭介	待寺真司	結果	関連記事	
議案第38号	令和2年度葉山町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
議案第39号	令和2年度葉山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	P2
議案第40号	令和2年度葉山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	認定	〽
議案第41号	令和2年度葉山町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	P7
議案第42号	令和2年度葉山町下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	

○は賛成 ×は反対 ※議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決めます。

全会一致の議案等		結果	関連記事
議案第34号	令和3年度葉山町一般会計補正予算(第3号)	可決	P8
議案第35号	令和3年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	-
議案第36号	令和3年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	-
議案第37号	令和3年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	-
議案第43号	葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可決	P9
議案第44号	人権擁護委員の推薦について	可決	-
議案第45号	人権擁護委員の推薦について	可決	-
議案第46号	令和3年度葉山町一般会計補正予算(第4号)	可決	P9
議会議案 第3-6号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	可決	P13
陳情 第3-8号	葉山町暴力団排除条例及び関連法規の遵守の重要性の確認を求める陳情	趣旨了承	P11
陳情 第3-10号	令和4年度における「重度障害者医療費助成制度」の継続についての陳情	採択	P11
陳情 第3-11号	令和4年度における透析治療への通院困難者に対する「通院支援」の継続についての陳情	採択	P11
陳情 第3-12号	葉山町スポーツ推進計画に関する陳情書	趣旨了承	P12
陳情 第3-13号	中華人民共和国政府の人権弾圧に対する速やかな対応を求める意見書に関する陳情書	趣旨了承	P11

意見書を提出しました

紙面の都合上要約しています

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書



令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、次の事項を確実に実現されるよう強く要望する。

1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額は「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう確保するとされている通り、十分な総額を確保すること。

2 固定資産税は市町村の重要な基幹税であり、見直しは行わないこと。また固定資産税等に係る特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として確実に終了すること。

3 令和3年度税制改正により講じられた土地に係る固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとする。

4 同様に自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の更なる延長は行わないこと。

5 炭素に係る税を創設・拡充する場合は、その一部を地方に税源配分すること。

今回は、12人の議員がそれぞれの想いで臨みました!!



各議員の枠内右下にあるQRコードを読み取ると議会本会議での一般質問の動画を観ることができます。また、過去に遡った質問動画もご覧いただけます。



葉山町議会

町政を問う



一般質問は、答弁を含め、1人あたりの持ち時間は60分です。

掲載している内容は、質問者の原稿を基に広報常任委員会が編集校正したものです。会議録は、議会ホームページのほか、議会事務局、図書館でもご覧いただけます。

一般質問

近藤昇一

暫定的な中学校給食のあるべき姿は

教育部長
温かい給食は必要だ



問 中学校給食の実施が学校給食センターの用地選定に失敗し、大幅に遅れ、議会の「早期実現を求める決議」に押され、暫定的に中学校給食を実施するため、民間からの提案を受けた。上山口小学校の調理室で中学校給食を調理する「親子方式」とランチボックスなどの「デリバリー方式」が検討されているが、教育委員会として暫定的であっても5年以上実施する中学校給食のあるべき姿を考えているのか。

教育部長 最低限温かい給食は必要と考える。**問** 給食事業者の工場から食缶方式で直配する方式の提案はなかったのか。

教育部長 余力がないと、提案がなかった。**問** 関係者への説明がされるのか。

教育部長 決める前に丁寧に説明したい。

問 中学校給食の実施時期を2022年9月から、2023年4月に先延ばしされた理由として配送車両の調達に6か月から10か月かかるとなっているが、町で調査したのか。

教育部長 提案のみで確認していない。

問 親子方式を上山口小の調理室で実施した場合、労働環境の悪化にならないのか。

教育部長 詳細はこれから詰める。

消防団員の処遇改善を

問 消防庁は消防団員の処遇等に関する検討会報告書で「報酬等の処遇改善は、団員の士気向上や家族等の理解を得るため不可欠であることから、各市町村は報酬等の基準を踏まえた処遇の見直しを速やかに行うこと」と報告されているが、町の対応は。

消防長 検討を進め、4月から適切な報酬を支払えるよう取り組んでいる。



上山口小学校調理室外観

伊藤航平

教育的な観点から見たSDGsの関わり方は

教育長
東アジアの貧困地域とインターネットで話をする



SDGsへの取り組み

問 世界のニュースや国内の問題など、教育の観点から見たSDGsの関わり方や取り組みや問いかけは。

教育長 OECDでも2030年を一旦ゴールに置いてみる。知識型の教育から、これまでの学力観とは違ったものを求めていかないと、社会の中でしっかりと生きていることができないと反省している。プロジェクト・ベースド・ラーニングの中で、課題の部分をしっかりと考えていく学習に移っていく。葉山中学校で東アジアの貧困地域とインターネットをつないで話することもその一例だ。

問 産業と技術革新・働きがいと経済成長で

は、葉山町の目指す2030年のゴールや方向性は。

町長 率直に難しい問いをいただいた。住宅の町であり観光より住宅、住む人の住みやすさを優先させたい。表面的、経済的なものの利益優先の商工業、産業、農業、漁業が発展するより、自然と共生する形の一次産業の活性化の中で、町全体が活性化することをSDGsだと考えている。

問 町は、再生可能エネルギーの電力会社から電力は供給を受けないのか。

環境部長 なるべく現行の予算より増えないような形で調査研究していく。

問 2030年のゴールに向けて葉山町の取り組みは。

町長 総括して、当てはめたものを示したい。



広島市平和記念公園

飯山直樹



南郷公園駐車場有料化は十分な配慮を

教育部長

具体的な方式、金額設定等は検討段階だ

問 南郷上ノ山公園は町民の山側の憩いの場の筆頭で、海も山もある葉山の発展に駐車場有料化は逆行する。普通に使う町民への十分な配慮が必要と考えるがどうか。

教育部長 具体的な方式、金額設定等はまだ検討段階。パブリックコメント実施後、令和4年2月の条例化を考えている。

問 コロナをきっかけとして教育の*パラダイムが変わり、変革のチャンスだと思う。開放的で進取の気象に富んだ教育の実現に向けての思いはどうか。

※定説の大きな流れ

教育部長 高度成長の中で、教育の基盤は一律の良い子をつくることにマニュアル化した。その反省に基づき新学習指導要綱では小・中・

高全てを通して自ら考え行動する能力を育む方向へと変革した。実践には教育側が閉鎖的ではできないので、一層の努力をしていく。

問 第3次教育総合プランでは、小中一貫教育について4年後には議論が活発になっていくとあるが、指標として遅いと思うが。

教育部長 すでに令和7年度には開校の議論に入っており、率直に遅いと思う。

問 *ソサエティー5.0環境において、戦略的な人材育成のための高度ICTの活用は。

※仮想空間と現実空間を融合させた社会

教育部長 ICTはあくまでもツールであるが、バーチャル空間での発見や課題解決の最適化等、積極的に取り入れるべきと考える。

問 南郷上ノ山公園のドッグヤードが傷んできた。利用者の方も参加する補修はどうか。

教育部長

提案通り検討したい。

福祉部長 事情が受けられない方への対応は、ワクチンが受けられない方への対応は、感染の脅威にさらされないよう感染対策を取る。



南郷上ノ山公園駐車場

金崎ひさこ



生ごみ資源化施設に破袋機が必要か

町長

ビニール袋導入はやむを得ない

問 プラごみゼロと破袋機設置は矛盾するが、町長 将来的にはバイオでできた生分解性袋にしたいが、現段階ではやむを得ない。

問 破袋機設置費用は。

環境部長 1千万円を予定している。

問 その費用で生分解性袋を配布し、実証実験をしてみたいか。

町長 生分解性袋では100%の生ごみを収集することは不可能と聞いている。

問 生ごみの処理方式が決定するのはいつか。

環境部長 プロポーザルでの提案の後になる。

問 全てが決定した後に実証実験をすべきだったのではないか。

環境部長 実証実験の目的は組成分析と収集および家庭での課題の把握にある。

問 分別して出された生ごみの有効利用を。

環境部長 難しい。組成分析の後、焼却する。

問 処理経費の1億円削減の根拠は。

環境部長 生ごみ資源化施設が稼働した後、返却市の炉に鎌倉市が参入し、焼却ごみ総量が増え、単価が下がることによる。

新型コロナ対策

問 自宅待機の陽性者が容体悪化した時の受け入れ体制はできているのか。

福祉部長 神奈川県と医師会が協定を結んだ。

問 循環バスのノウハウを、交通不便地解消に活かせるのではないか。

福祉部長 提供できるデータは取っている。

問 学校で陽性者が出た場合の対応は。

教育部長 同一クラスで多数の陽性者が出ない限り、学級閉鎖にはならない。

問 換気のため窓を開放するが、寒さ対策は。教育部長 規則に囚われず、エアコンや上着の活用を学校長に促す。



破袋機

土佐洋子



ウィズコロナ、アフターコロナの対応は

町長

効果的な事業展開を行う

健康で安心できるまち

問 ウィズコロナ、アフターコロナの対応は。町長 健康の維持増進に係る事業を再開した。感染防止対策をベースにした効果的な事業展開を行いたい。

問 サステナブルな町としての取り組みは。

町長 町民、事業者の気づきや、具体的な行動につながるような周知啓発に、積極的に取り組んでいく。

問 生ごみ処理で、生ごみをビニールに入れて排出するのは葉山らしくなく、まったくサステナブルではないのではないか。

環境部長 生分解性のビニールがあるが、確立されておらず、今の現状ではやむを得ない。

問 職員への*カスタマーハラスメントは。

※顧客や取引先から受ける悪質なクレームや要求
町長 カスタマーハラスメントと判断した場合には、複数の職員での対応や会話の録音を行うなど、毅然とした態度で臨む。

問 *SVSの進捗は。
※スポットビジョンスクリーナー(視機能の検査機器)
町長 導入した近隣自治体の状況を参考にし、前向きに検討をしていく。

問 令和4年度に国より市区町村へSVS設置の補助があるが、4月から導入できるか。

福祉部長 上手に活用し、導入に向けた検討を前向きに進めたい。
ヨットの町とオリンピック

ヨットの町とオリンピック

問 オリンピック開催の意義は。

町長 世界屈指の強豪国である英国セーリングチームが、本町をホストタウンとして選んだことと日本ヨット発祥の地であるということは無縁ではない。チームへのサポート体制はたびたびマスコミにも取り上げられ、ヨットとの関係をより身近に感じた町民も増え、また、町外にも発信できた。



寄贈されたウィンドサーフィン

石岡実成



臨御橋、将来に不安を残すと分かっていながら事業を進めるのか

町長 修繕の先に、作り直しも視野に入れて守っていく

臨御橋架け替えプロジェクト

問 「架け替え」ではなく「修繕」に留まり、将来に不安を残すと承知しながら、多額の税金を投入し事業を進めることについて違和感を覚える。寄付者や町民への説明は。

町長 基本的に橋が現状の景観のまま存続することが本質。たとえ修繕になろうが、完全な新しい橋になろうが、意向をしっかりと酌みつつ守っていきたいと思っている。説明は、不確定要素が確定した時点で行うつもりだ。

問 スケートボード場の新設提案には「それだけのためだけにお金は出せない」というのであれば、プロジェクトと銘打った以上、寄付金を集める努力、施策を強化するべきでは。政策財政部長 手探り状態が続く中、コロナ

禍ということもあり、大きな動きが取れない。年末にかけた、ふるさと納税の駆け込み需要を逃すことなく、更なる工夫に加えていろいろなアピールを仕掛けていきたい。

問 葉山国際カントリークラブに「ふるさと納税自販機」を設置しては。

政策財政部長 まさに目からウロコ。先進自治体に確認しながら調査、研究してみる。

町民体育館・プールの新設

問 「あったらいいな」ではなく、必ず必要な施設として、今後の計画のメニューの中に取り入れていく姿勢が必要では。

町長 現状では、それ以前にやらなければいけない既存の公共施設の取り組みがあり、それを差し置けることはできない。

その他の質問 電柱の地中化・土砂災害ハザードマップの周知と今後の取り組み・地域防災力の確認と防災用Wi-Fi環境整備・今後のコロナ対策について



ふるさと納税自販機 (松田町)

窪田美樹



加齢性難聴に補聴器購入補助を

福祉部長 聴覚障害認定者に補助をしている

聴覚障害認定者に補助をしている

問 白内障など医療保険、足腰の不自由には介護保険、加齢性難聴にも補聴器購入補助を。福祉部長 聴覚障害認定者に補助をしており、相談時には医療機関への受診を案内している。

問 早期発見にGPS機器の貸し出しを。福祉部長 有効性を確認しながら検討する。

問 ふれあい収集への交付税措置もある。粗大ごみを玄関先まで出す補助の事業拡充を。環境部長 家に入る等福祉課と協議が必要だ。

問 山口町内会で生ごみの協力分別収集が始まった。全町実施の際には紙おむつ用にバケツ貸出等を実施するとしていたが、配慮は。環境部長 意見交換で要望があれば用意する。

問 ふれあいバス利用者は年間6千円補助がある。バス停までが遠くパスを利用しない方

等にタクシー券補助をし、外出支援の拡充を。福祉部長 公平性の観点からも検討したい。

防災・減災への取り組み

問 災害弱者の避難行動個別計画策定は。総務部長 民生委員やケアマネ等の協力が必要だが、議論が詰め切れず策定期間は未定だ。

問 連携が必要となる福祉避難所の整備は。総務部長 介護施設と取り決めは交わしているが、細かい部分で訓練等が必要と考える。

問 災害ごみの分別や仮置き場の決定は。環境部長 具体的に決まっていらないが、年度中に災害ごみに対する計画の中で決めていく。

子育て支援の充実

問 多胎児妊娠の健診助成回数を逗子市も増やし横浜市では6回増だ。早急に拡充を。福祉部長 情報収集し、さまざま協議したい。

問 産後ケアに対し、2泊目の利用を半額に。福祉部長 利用しやすいものを考えていく。

その他の質問 はやま気候非常事態宣言



記念に撮るマタニティフォト

鈴木道子



堀内防災広場公園の枯木伐倒とフェンスの修理を

都市経済部長 即刻伐倒し、フェンスは修理する

公園の管理

問 堀内防災広場公園の枯木伐倒とフェンスの修理を早急にすべきだがどうか。都市経済部長 枯木伐倒は即刻する。フェンス修理は令和4年度予算で予定する。

問 带状疱疹ワクチン接種助成について伺う。まず、町内の罹患状況はどうか。町長 届け出の必要なく、把握はしていない。

問 50歳頃から80歳までの3人に1人が罹患し、発症後の神経痛後遺症が10年続くこともある。2016年認可ワクチンは高額のため、助成の自治体がある。助成すべきだが。福祉部長 予防につき、国県の情報収集し、時期を見定めて、周知をしていく。

問 がん治療の*アピランスケア推進事業でウィック購入費助成の自治体がある。実施は。*外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア

福祉部長 情報収集に努める。問 コロナ禍における支援で、妊婦へのタクシー券交付実施の自治体があるが、実施は。福祉部長 研究し、情報収集していく。

問 *KOKOROBOの周知をすべきだが。*メンタル不調のある方のオンラインによるメンタルヘルスケアのシステム

町長 少子化対策への提案として承る。問 ナラ枯れに対し、危険木としての伐採費用助成をすべきだがどうか。総務部長 防災の観点から補助対象だ。

問 一色公園の松枯れが目立つ。伐採跡も10本見られた。伐採後の耐性松等植樹は。都市経済部長 植樹をしていきたい。

芸術文化

問 逗子市で実施しているように、町民にスタインウェイのピアノを弾く機会を。福祉部長 公演実施の機会を増やしていく。



一色公園の枯れ松

伊東圭介



既成宅地防災工事等助成
事業の創設をすべきでは

町長

課題はあるが優先度を
上げて取り組むべき

問 近年の集中豪雨や長雨、地震等が頻発して町民の防災意識も高まっている。近隣市では、防災工事の助成を行っていると思うが。

総務部長 三浦半島地域の現状は、横須賀市、鎌倉市及び逗子市においては、助成制度がある。制度がないのは、三浦市と葉山町である。葉山町は、危険木の伐採については、助成制度がある。

問 制度創設には、さまざまな課題があると思うが、大規模斜面における急傾斜地崩落危険区域の指定・工事が進まない現状を補完する観点からも、制度の創設をするべきでは。

町長 財源や町民ニーズの調査・確認をしながら、町としての制度設計などの議論を深めていきたい。

児童・生徒の通学路の安全確保について

問 葉山町における取り組みは。

教育部長 通学路安全推進会議を設置し、各学校、教育委員会、道路河川課、防災安全課及び県土木事務所、葉山警察署に参画いただき、安全点検の実施や対応の協議をしている。

問 6月に千葉県八街市で発生した児童5人が死傷する痛ましい事故を受けて、文科省から合同点検実施の依頼の通達があったと思うが、実施したのか。

教育部長 通学路安全推進会議の合同点検がコロナ禍の影響で延期していたので、併せて9月中に実施した。

問 大切なことは、危険箇所を早急に改善することである。町の対応は。

町長 教育委員会とも協議し、交通安全対策に限らず、危険木や草の繁茂等についても、町でできることは早急に対応し、最善を尽くしていく。



自費施行の防災工事現場

荒井直彦



鳥獣対策について
更なる拡充を

町長

解決に向けて議論したい

鳥獣対策

問 令和3年度の予算で4輪駆動の車を増やすと聞いているが、いつ更新されるのか。

総務部長 12月に1台から2台にする。

問 町は、対策をそもそもどうしていくのか。

町長 隊員の方々の苦勞とこれまでの活動に心から敬意と感謝を申し上げる。現在抱えている課題もよく伝わっている。改めて、時間をいただき解決に向けて議論をしたい。

緑の保全事業

問 横須賀市のナラ枯れ対策補助制度があることは調べたのか。

環境部長 横須賀市に確認したところ、実績は1件、問い合わせは20件あったと聞いた。

問 横須賀市には、もともと別に既成宅地立

木伐採工事への助成制度があり、そちらで対応ができていた。葉山町でも危険木の対応の中でナラ枯れに対する補助の実績はあるのか。

総務部長 危険木伐採工事費等助成金審査では、防災上危険であるか土砂災害警戒区域に立地しているかの観点で、ナラ枯れ等の病気にさらされているかの確認はしていない。

問 令和4年度の予算に向けて、ナラ枯れの補助制度を確立することはできないか。

町長 もう少し、研究をしなければならぬと思っている。一旦は、危険木を中心に対策として議論を進めていきたいと思う。

問 横須賀市の財源は森林環境譲与税だが、葉山町は現在、森林環境譲与税は、みどり基金に積んでいる。葉山町はどうなのか。

町長 森林環境譲与税の使い道のひとつとして、十分検討していきたいと思う。



監視カメラに写ったイノシシ

中村和雄



葉山らしい
民生委員活動の工夫を

福祉部長

時代にあった情報を提供し、
活動を実のあるものにした

民生委員制度

問 民生委員法には、地域との連携の考えが全くない。地域連携の重要性が叫ばれるなか、葉山独自の名称にするなど、葉山らしい民生委員活動ができる工夫があってもいいと思うが。

福祉部長 さまざまな工夫は必要と考える。時代にあった情報を提供し、活動を実のあるものにした。

まちづくり

問 まちづくり条例の基本理念に、町民の交流や一体感のあるまちづくりのような、ソフトの理念を盛り込むべきと思うが。

町長 条例では、従う必要がないという議論になってしまう。総合計画など大きな枠なかで運用する形の方が無難と考える。

民間資金を活用した施設整備

問 体育館・プールの整備については、町長も夢だと答弁されている。夢の実現に向けて一歩を踏み出すべきと思うが、民間資金による整備を進めたらどうか。

町長 整備する段階になれば、民間の力も貸してもらえらると思うが、適当な用地がない中では、既存施設の検討のタイミングを見計らうなど、議論を継続していくことが大事だ。

ふるさと納税

問 ふるさと納税は、令和2年度5千万円ほど赤字になった。今後、人口減による税収減や、公共施設の更新整備による支出増の事情もある。ふるさと納税の寄付金収入と寄付金控除額の差は、これまでどうなっているか。

政策財政部長 平成29年度から令和2年度までの累計で、収入は1億6千800万円、税の減収分は2億9千万円だ。



葉山町ふるさと納税パンフレット

山田由美

図書館の敷地内にベンチを

教育部長 設置の方向で検討する



図書館へのベンチ設置

問 図書館の敷地内にベンチがあれば、閉館中でも憩いの場になるのではないかと。

教育部長 要望やニーズがあれば、設置の方向で検討する。

学校給食センターと給食事業全般

問 給食センターの令和4年9月供用開始という予定が延期になり、業者との覚書の見直しが必要になったか。

教育部長 見直しは進めなければならない。

問 道路の拡幅と、センター用地を町に無償提供していただくことは変更なしか。

参事 その通りだ。

問 親子方式などの時限的代替案については、広く町民の意見を聞いてはどうか。

教育部長

ご意見としては承る。

災害時の弱者支援

問 国が、要支援者の「個別避難計画」を自治体の努力義務としたが、それでは足りない。高齢者や乳幼児等を含むご家庭を支えるには、町民全体の力が必要だ。災害時の安否確認や支援に備え、町内会単位で「支え合いマップ」を作成してはどうか。

福祉部長 個別計画のリストに入らない方については、地域の力が必要だと思う。

新型コロナウイルス対策

問 新型コロナウイルスはエアロゾル感染の疑いが出てきた。換気が重要なので、庁舎の出入り口や窓の常時開放を検討してはどうか。

総務部長 機械換気に加えて、午前と午後2回ずつ窓開け換気を行っている。

問 入院に至らない自宅療養者への援助は、福祉部長 鎌倉にある県保健福祉事務所を中心に、県で把握し、管理している。



葉山町立図書館

議員懇談会

臨御橋架け替えプロジェクトについて

老朽化による危険性が高まってきている下山川の流域にかかる「臨御橋」の現状と、神奈川県土木事務所とのこれまでの協議内容や、それを受けて葉山町が目指す工事内容について詳細な説明を受けました。



臨御橋

これまで町は架け替え工法での検討を進め「臨御橋架け替えプロジェクト」との冠でふるさと納税等の寄附金をお願いしてきましたが、景観性・経済性・施工性・協議期

間及び施工期間などの総合的な観点から、補修・耐震補強による工法へと舵をきり、今後は耐震補強による工事の検討・協議を進めるとの方針が示されました。

補修・補強工法では、詳細な耐震補強設計が必要となるため、設計業務を委託して、その成果をもとに詳細協議へと進めなくてはなりません。そのため設計業務委託費が別途必要となることです。

経費が高むこととなりますが、それでも架け替え工事よりも安価にすむとのことですが、ただし、補修工事では根本的な問題解決に至らない部位（桁）が残るため、どの程度の寿命が延びるのか正確な年月を示すことは難しいとのことでした。それでも前述した総合的な観点から、耐震補強による工法を進めるとの判断となりました。

質疑の中で「寄附をされた皆さまは、架け替えを期待しての協力金ではないのか」「寄附者に対して工法を変更した理由について、しっかりと説

明責任を果たさなくては」との指摘もありました。今後の動向に関して町議会としても注視していきます。



老朽化した橋桁

令和3年度「葉山町新春の集い」の開催について

町側から令和3年度の開催も中止にするとの結論が報告され、共催の議会側も、この決定を了承いたしました。主な理由として、昨年の冬にコロナ感染が拡大しており第6波への懸念が強いこと。ワクチン3回目接種への対応が必要となるためです。

議長 待寺真司 記

町長行政報告

新型コロナウイルス発生状況

- 9月7日現在、町内の累計感染者数は336人。
- 湘南国際センターの軽症感染者等の受入者数は31人。
- 県内の新規感染者数は減少に転じているが依然高い水準で、町職員も複数名の感染者が発生している状況。庁舎内3密の回避やマスク・手洗いの徹底、テレワーク等勤務体系の実施を継続する。
- 小中学校は、短縮授業や登校時の健康観察の徹底等、感染防止対策を講じながら9月1日より学校を再開する。
- 登校に不安のあるご家庭に対して、オンラインによる課題の配信等学びの保障を行う。

ワクチン接種の状況

- 9月7日現在、65歳以上の対象者中86・8%が1回目接種を終了し、85・6%が2回目接種を終了した。

- 9月6日より接種対象年齢を12才以上に拡大し、57・1%が1回目接種を終了した。

夏の海水浴場の状況

- 7月2日から海水浴場を開設したものの、緊急事態宣言の発令に伴い、8月4日から海水浴場を休場し、海の家についても休業したが、関係機関のご協力により大きなトラブルなく無事シーズンを終えた。



2021年夏の一色海水浴場

葉山つつじカードの利用状況

- 276店舗にご協力いただき、配布総額の95・5%に当たる約1億5800万円の利用があった。



葉山つつじカード

米国での心臓移植を目指している森木花ちゃんについて

- 「木花ちゃんを救う会」の皆様より、4日現在で3億5236万4591円の寄付があったことで、10月下旬から11月上旬にかけて渡米し、移植手術に臨む予定で調整を進めているとの報告があった。

表紙説明

9月6日に森戸神社にて「一心泣き相撲[®]葉山場所」が行なわれました。

40年以上の歴史を有する泣き相撲は、健やかな成長と健康を祈願する日本の伝統行事のようです。



化粧まわしと紅白綱を締めた赤ちゃんが、人生の初土俵に上がる姿は可愛いらしく逞しく感じられ、赤ちゃんの卒業式ともいわれています。

町内外から多くの子どもも力士が参加し、可愛いまわし姿の大きな泣き声は、周りからの笑顔に包まれていました。

次回定例会は...

11/30-12/15 の予定です。

議案審議	一般質問	各常任委員会	議会運営委員会
11/30 (火)	11/30 (火)	12/3 (金)	12/8 (水)
12/14 (火)	12/1 (水)	12/6 (月)	
	12/2 (木)	12/7 (火)	

定例会のスケジュールは変更になる可能性があります。また、一般質問は質問者数によって日程が変動します。詳しくは議会ホームページにてご確認ください。

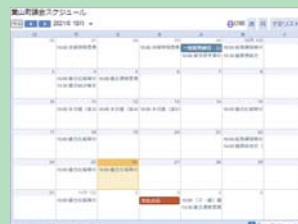


※新型コロナウイルス感染症対策として、本会議場及び委員会室での傍聴を調整・制限させていただいております。ご理解ご協力をお願いします。

議会本会議のライブ中継は、スマートフォン、タブレットでも視聴できます。



視聴はコチラ



議会ホームページのトップに Google カレンダーが入りました。

録音版議会だより

議会だよりは音声データを作成しています。ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。

議会の最新情報は…ホームページをご覧ください!! <https://www.town.hayama.lg.jp/gikai/>

議長 待寺 真司
 議会広報常任委員会
 飯山 直樹 鈴木 道子
 山田 由美 金崎 ひさ
 荒井 直彦 土佐 洋子
 窪田 美樹

10月18日 金崎ひさ 記

真つ暗なトンネルをやっと抜け出した気分です。新型コロナウイルスという未知のウイルスが、私たちの日常をことごとく壊していききました。そして、恐怖心、猜疑心などが「マスク警察」を生み、世界中で殺人を含む醜い争いがありました。

また、マスクのせいで表情が読みとれず、大切な幼児期を2年間も過ごしてきた赤ちゃんたちの精神的な影響が心配です。

顔を合わせ、共に行動をし、分かれ合う、そのような何気ないひとときが人生に潤いをもたらすことを実感しています。

まだまだ、マスク越しという隔たりのある、家族を含めての人間関係ではありますが、一日も早く通常の日々に戻れることを祈りつつ、編集作業をしています。

編集後記



●議会だより144号6ページを次のように訂正いたします。1段目「公共交通の環境整備」の8行目、部長の答弁中【誤】住民による公募委員を【正】福祉課に訂正いたします。皆さまには、大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。